



2018年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 芳賀 惠一 TEL 011 (861) 1600
 四半期報告書提出予定日 2018年8月3日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第3四半期の連結業績 (2017年10月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第3四半期	6,246	33.2	215	—	252	—	130	—
2017年9月期第3四半期	4,690	△20.9	△261	—	△206	—	△204	—

(注) 包括利益 2018年9月期第3四半期 159百万円 (—%) 2017年9月期第3四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第3四半期	18.00	17.45
2017年9月期第3四半期	△28.82	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。なお、2017年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年9月期第3四半期	6,554	4,137	59.7
2017年9月期	6,606	4,018	57.6

(参考) 自己資本 2018年9月期第3四半期 3,912百万円 2017年9月期 3,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2018年9月期	—	0.00	—		
2018年9月期(予想)				12.50	12.50

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	23.6	400	144.1	450	102.3	190	82.0	26.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2018年9月期3Q	7,407,400株	2017年9月期	7,407,400株
② 期末自己株式数	11,128株	2017年9月期	232,128株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7,224,583株	2017年9月期3Q	7,109,052株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（日付の表示変更について）

第1四半期より、日付の表示を和暦から西暦へ変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び当社の関係会社)が事業を展開しております医療業界においては、平成30年度診療報酬が改定された中(全体として△1.19%)、医療機関には「地域医療構想」により病床機能の再編に向けた取り組みが求められており、また、早期に住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう、地域包括ケアシステム[1]推進のための取り組みが行われております。

一方、医療情報システムに関する国策として、「未来投資戦略2017」によりビッグデータ分析などのデータ活用基盤の構築やICT[2]利用が推進されており、2020年までに400床以上の一般病院における電子カルテ普及率を90%とする具体的目標が維持されるなど、今後も医療の質向上や効率化に寄与する電子カルテシステム[3]の普及が期待されております。

このような状況の中、売上高につきましては、昨年8月より販売を開始した新製品「MI・RA・I s/AZ(ミライズ・ユーザィー)」[4]を含む電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」の販売が好調に推移したことから、前年同期比で大幅な増加となりました。利益面におきましても、売上高の増加及び「MI・RA・I s/AZ」に関する研究開発費の減少などにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,246百万円(前年同期比33.2%増)、売上総利益は1,112百万円(前年同期比26.2%増)、営業利益は215百万円(前年同期営業損失261百万円)、経常利益は252百万円(前年同期経常損失206百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は130百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失204百万円)となりました。また、受注状況につきましては、受注高6,412百万円(前年同期比17.8%増)、受注残高2,935百万円(前年同期末比9.0%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

〔医療システム事業〕

電子カルテシステム新製品「MI・RA・I s/AZ」を中心とした「MI・RA・I sシリーズ」の販売に注力するとともに、「MI・RA・I sユーザーフォーラム」[5]の活動などを通じてユーザーニーズの把握に努め、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図っております。

また、政府が推進する地域包括ケアシステムの構築を見据えて、一部の地域において構築支援を行っております。さらに、地域中核病院を中心とした受託開発・導入作業の他、医療機関のシステム運用・管理を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める医療システム事業の業績につきましては、前記の状況により、受注高6,377百万円(前年同期比18.0%増)、受注残高2,925百万円(前年同期末比9.5%増)、売上高6,198百万円(前年同期比33.3%増)、セグメント利益253百万円(前年同期セグメント損失229百万円)となりました。

〔その他〕

「Moccosuku」においては、ヘルスケア関連情報サイトの運営改善にとどまらず、新たなサービスの立ち上げに取り組んでおります。その他、クラウドデジタルサイネージ[6]システムについては、公共及び商業施設向けの販売に努めてまいりました。

その他の業績につきましては、受注高34百万円(前年同期比16.4%減)、受注残高10百万円(前年同期末比51.7%減)、売上高47百万円(前年同期比19.7%増)、セグメント損失29百万円(前年同期セグメント損失33百万円)となりました。

- [1]地域包括ケアシステム 政府が構築を推進している、地域の包括的な支援・サービス提供体制。団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。
- [2]ICT Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。
- [3]電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省(当時)が容認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システムなどから構成されている。なお、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬などの指示(オーダー)を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。
- [4]MI・RA・Is/AZ 電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」において、2017年8月より販売を開始した新製品。より使いやすくより診療に貢献できるシステムとなるよう、多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上などの実現に寄与する。2025年に向けて整備が進められている地域包括ケアシステムにおいて医療機関が担う役割をICTの面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医などの医療機関、介護、福祉などの施設や、在宅にて治療を進める患者や家族など、ヘルスケア分野全領域(All Zone)との連携を進めることを目標としている。
- [5]MI・RA・Isユーザーフォーラム 電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、見学会や情報交換会などの活動を定期的に行っている。
- [6]デジタルサイネージ 液晶やLEDディスプレイを用いた電子看板。紙にくらべて様々なコンテンツを届けられることから、近年その普及が急速に進んでいる。当社グループでは、医療機関向け「MI・RA・Is/Signage」と公共及び商業施設向け「DJ-Signage」を取り扱っている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加702百万円、仕掛品の増加174百万円、受取手形及び売掛金の減少1,037百万円などによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の減少190百万円などによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分により自己株式が80百万円減少したこと、利益剰余金が24百万円増加したこと、非支配株主持分が13百万円増加したことなどによるものです。なお、利益剰余金の増加の内訳は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益130百万円の計上及び剰余金の配当による減少89百万円、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分による自己株式の減少などによるものです。

この結果、自己資本比率は59.7%(前連結会計年度末は57.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、医療システム事業を中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組んでまいります。

ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携などを通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

2018年9月期の連結業績見通しにつきましては、2017年11月6日発表の「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191,425	1,893,614
受取手形及び売掛金	2,412,278	1,374,765
商品及び製品	1,342	2,706
仕掛品	336,710	511,671
原材料及び貯蔵品	1,801	1,763
その他	180,464	160,311
貸倒引当金	△975	△823
流動資産合計	4,123,047	3,944,008
固定資産		
有形固定資産	319,866	309,467
無形固定資産		
のれん	182,191	167,419
その他	133,174	285,578
無形固定資産合計	315,366	452,998
投資その他の資産		
関係会社株式	1,104,316	1,086,188
その他	744,464	762,264
貸倒引当金	△440	△360
投資その他の資産合計	1,848,341	1,848,093
固定資産合計	2,483,574	2,610,559
資産合計	6,606,621	6,554,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	996,616	566,193
1年内返済予定の長期借入金	254,072	254,072
未払法人税等	50,738	73,652
賞与引当金	100,513	176,533
その他	278,954	621,119
流動負債合計	1,680,894	1,691,570
固定負債		
長期借入金	805,398	614,844
退職給付に係る負債	59,193	64,931
その他	42,250	45,656
固定負債合計	906,841	725,431
負債合計	2,587,736	2,417,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,162,443	1,162,443
利益剰余金	1,590,549	1,614,659
自己株式	△84,917	△4,070
株主資本合計	3,804,666	3,909,623
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,688	2,796
その他の包括利益累計額合計	1,688	2,796
新株予約権	2,157	985
非支配株主持分	210,372	224,159
純資産合計	4,018,885	4,137,565
負債純資産合計	6,606,621	6,554,567

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,690,205	6,246,134
売上原価	3,808,731	5,133,450
売上総利益	881,473	1,112,683
販売費及び一般管理費	1,143,132	896,951
営業利益又は営業損失(△)	△261,658	215,731
営業外収益		
受取利息	258	86
受取配当金	3,000	3,432
投資事業組合運用益	234	4,053
持分法による投資利益	45,602	17,517
その他	8,246	14,589
営業外収益合計	57,341	39,678
営業外費用		
支払利息	2,457	2,671
営業外費用合計	2,457	2,671
経常利益又は経常損失(△)	△206,774	252,738
特別損失		
減損損失	25,757	-
持分変動損失	604	1,645
特別損失合計	26,362	1,645
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△233,136	251,093
法人税、住民税及び事業税	8,923	116,563
法人税等調整額	△17,457	△24,005
法人税等合計	△8,534	92,558
四半期純利益又は四半期純損失(△) (内訳)	△224,602	158,535
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△204,863	130,049
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,738	28,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,323	1,108
その他の包括利益合計	2,323	1,108
四半期包括利益 (内訳)	△222,278	159,643
親会社株主に係る四半期包括利益	△202,539	131,157
非支配株主に係る四半期包括利益	△19,738	28,486

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2016年10月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,650,384	39,820	4,690,205	—	4,690,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,650,384	39,820	4,690,205	—	4,690,205
セグメント利益又は損失(△)	△229,380	△33,284	△262,664	1,006	△261,658

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,006千円は、セグメント間取引消去122,846千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△121,840千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、当初予定していた収益を見込めなくなったことから、株式会社Mocosukuの固定資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、第3四半期連結累計期間においては25,757千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社システム情報パートナーの取得によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては187,116千円であり、「医療システム事業」に帰属しております。

また、医療システム事業のセグメント損失(△)には、のれんの償却額9,848千円が含まれております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	6,198,471	47,662	6,246,134	—	6,246,134
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,198,471	47,662	6,246,134	—	6,246,134
セグメント利益又は損失(△)	253,117	△29,844	223,273	△7,541	215,731

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,541千円は、セグメント間取引消去127,381千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△134,922千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	5,401,689	129.4
その他(千円)	26,837	117.8
合計(千円)	5,428,526	129.3

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療システム事業	6,377,884	118.0	2,925,229	109.5
その他	34,618	83.6	10,579	48.3
合計	6,412,503	117.8	2,935,808	109.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	前年同期比(%)
医療システム事業(千円)	6,198,471	133.3
その他(千円)	47,662	119.7
合計(千円)	6,246,134	133.2

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第3四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。